

2026年 第10回 一般社団法人 日本先進医療福祉普及会 特定認定再生医療等委員会

開催日時：2026年2月6日
開催場所：福岡県福岡市中央区地行浜2－2－3ヒルトン福岡シーホーク 4F福岡セントフレンズクリニック
実施期間：一般社団法人日本先進医療福祉普及会 特定認定再生医療等委員会
Tel: 092-753-3068 e-mail: kyusen.fukyukai@gmail.com

当委員会 での役割	氏名	職種	構成 要件 ※1	設置者 との利 害関係	委員の出欠・利益相反 （審議案件別）※2					成立要件のチェック （審議案件別）※3					備考
					第1部	第2部	第3部			要件1	要件2	要件3	要件4	要件5	
委員長	恒吉 正澄	医・教授	①	無	×	×	×			☐	☐	☐	☐	☐	
副委員長	井口 孝介	医	③	無	×	×	×			☐	☐	☐	☐	☐	
委員	鈴木 友香子	歯	②	無	○	○	○			☒	☒	☒	☒	☒	Zoom出席
	村上 弘	歯	③	無	○	○	○			☒	☒	☒	☒	☒	Zoom出席
	野北 英史	医	③	無	×	×	×			☐	☐	☐	☐	☐	
	増田 裕希	培養	④	無	○	○	○			☒	☒	☒	☒	☒	Zoom出席
	関本 公紀	培養	④	無	×	×	×			☐	☐	☐	☐	☐	
	大島 恵美	培養	④	無	×	×	×			☐	☐	☐	☐	☐	
	千葉 俊明	医	④	無	×	×	×			☐	☐	☐	☐	☐	
	早崎 裕子	弁護士	⑤	無	○	○	○			☒	☒	☒	☒	☒	Zoom出席
	瀬戸山 晃一	教授	⑥	無	×	×	×			☐	☐	☐	☐	☐	
	岸 拓弥	医・教授	⑦	無	×	×	×			☐	☐	☐	☐	☐	
	大庭 奈名	一般	⑧	無	○	○	○			☒	☒	☒	☒	☒	議長として出席
	井口 聖子	一般	⑧	無	×	×	×			☐	☐	☐	☐	☐	
技術 専門員	稲富 健司郎	医		無											

※1. 構成要件（特定認定）： ① 分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家 ② 再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者 ③ 臨床医（現に診療に従事している医師又は歯科医師をいう。以下同じ。） ④ 細胞培養加工に関する識見を有する者 ⑤ 医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家 ⑥ 生命倫理に関する識見を有する者 ⑦ 生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者 ⑧ 1 から 7 までに掲げる者以外の一般の立場の者
※2. 出欠： ○ 出席し、かつ当該再生医療等提供計画に関与しない委員 × 欠席した委員 ― 出席したが、当該再生医療等提供計画に関与する等のため審議・議決に参加の委員
※3. 委員会の審議場で、審議案件ごとに以下の要件を満たすことを確認してチェック。 ① 五名以上の委員が出席していること ② 男性及び女性の委員がそれぞれ二名以上出席していること ③ 「1.構成要件②、④、⑤又は⑥、⑧に掲げる者」がそれぞれ一名以上出席していること ④ 審査等業務の対象となる再生医療等提供計画を提出した医療機関（当該医療機関と密接な関係を有するものを含む。）と利害関係を有しない委員が過半数含まれていること ⑤ 認定委員会設置者と利害関係を有しない委員が二名以上含まれていること
第1部 陪席者： ①氏名：崔 炳武 所属：日本先進医療福祉普及会 事務局 説明者 福岡セントフレンズクリニック 永野 秀幸 院長、千葉 俊明

■議題

分類	新規審査	部・開催時間	第1部	18:05 ～ 18:16	No.	N029
議題	自己脂肪由来間葉系幹細胞による慢性疼痛治療（福岡 幹細胞培養センター）の新規審査					
再生医療等提供機関	医療法人福岡聖友会 福岡セントフレンズクリニック					
再生医療等提供機関管理者	永野 秀幸					
申請施設からの参加者	福岡セントフレンズクリニック 永野 秀幸 院長、千葉 俊明					
再生医療等の名称	自己脂肪由来間葉系幹細胞による慢性疼痛治療（福岡幹細胞培養センター）					
事務局受領日	2026年1月5日					
議決不参加の委員 （申請者との利益相反あり等）						
説明者	福岡セントフレンズクリニック 永野 秀幸 院長、千葉 俊明					
技術専門員	稲富 健司郎（渡辺整形外科病院）					
配付資料	1再生医療等提供基準チェックリスト - 審査等依頼書(様式 1 -慢性疼痛) - 再生医療等提供計画（治療）：様式第1の2 - 実施責任者（実施医師）永野秀幸_略歴 - 履歴書（千葉@脳神経外科専門医） - 技術専門員評価書(稲富) - 再生医療等に関する説明と同意（慢性疼痛） - 再生医療等の詳細を説明したもの - 再生医療等の内容をできる限り平易な表現を用いて記載したもの - 再生医療等に用いる細胞に関連する研究 - 痛みの評価チェックシート - 価格表（慢性疼痛） - 国内外における実施状況 - 衛生管理基準書（押印済） - 製造管理基準書（押印済） - 品質管理基準書（押印済） - 特定細胞加工物概要書（慢性疼痛） - 特定細胞加工物標準書（慢性疼痛@実施医療機関細胞加工施設） - H-CARM審査：適の判断がなされた委員会議事録（不織布培養および自動培養技術） - 自動培養プロトコル&培養ゴミ除去法&細胞品質 440225 最終報告書-不織布（静脈）					
議論の概要	委員会冒頭の確認事項 事務局より、出席委員の口頭確認 ・臨床医の立場として村上委員 ・再生医療の専門家として鈴木委員 ・医療人権に関する法律の専門家として早崎委員 ・細胞培養加工の専門家として増田委員 ・一般の立場として大庭委員 出席者確認に基づき、本委員会が開催成立要件を満たしていることを確認した 役務提供者との関係について確認 事務局より、役務提供者との関係について確認を行い、委員会および各委員が当該役務提供者から役務の提供を受けていないこと、ならびに役務提供者と委員会及び委員との間に密接な関係が存在しないことを確認した 技術専門員による科学的妥当性の評価確認 技術専門員（稲富健司郎、渡辺整形外科病院）より、再生医療等提供計画および関連添付資料の確認が行われた。技術専門員による評価の結果、本再生医療における提供計画の内容について特に問題はなく、安全性の評価項目および科学的妥当性の評価項目についても特に問題ないものと判断された旨が委員会に報告された。 申請者からの提供計画説明					

		申請者（千葉様）より、提供計画の概要について以下のとおり説明がなされた。 ・ 第2種再生医療等として実施される慢性疼痛治療については、既に全国で80件以上の提供計画が提出されており、再生医療としての意義および安全性については提供計画書に記載のとおりである。本計画において他の提供計画と異なる主な点は、細胞培養加工の手法にある。 ・ 当クリニックでは不織布を足場として使用した三次元培養法を採用している。当該三次元培養法は、東京をはじめとする他の加工施設でも採用されている既知の技術であり、多くの第2種再生医療等において承認・使用実績がある。 ・ 必要とする細胞量に応じて自動培養技術を用いている。自動培養技術については、2017年頃よりカネカ社関連施設（例：セルポートクリニックにおける乳房再建、松本歯科大学における歯槽骨再生等）での使用実績があり、重大な副作用等の報告はみられない。 ・ 自動培養された細胞の安全性に関しては、細胞の核型検査、間葉系幹細胞マーカーの確認、ミニブタへの移植実験（静脈注射を含む）を実施し、細胞投与に起因する重大な副作用や体調変化、組織学的異常は認められなかったことが報告されている。これらの資料は添付資料として提出されている。 ・ 三次元培養を採用する優位性については、三次元培養を行うことにより細胞から産生されるエクソソーム量が増加することが確認されており、細胞治療の効果をより高めることを目的として採用している。 ・ 本治療は第2種再生医療等として実施するものであり、安全性への配慮については、従来の提供計画と比較して十分な対応が図られていると思うのでその点につきましてもご審議いただきたい 質疑応答（審議内容） 申請者による説明の後、委員長（大庭委員）の進行のもと、各委員からの意見・質問が求められ、以下の質疑応答がなされた。 委員（議長） 不織布の足場（三次元培養）について、細胞培養加工の専門家の立場から意見はあるか。 委員（増田） 当該技術は既に確立された技術であるため、特段の問題はないと考える。 委員（議長） 臨床医の立場から意見はあるか。 委員（村上） 大学在籍中に細胞研究に携わっており、本テーマに関する研究も存在した。現在はその当時よりも技術が確立されており、特段問題はないと考える。 委員による合議・採決 申請者側参加者を退席させた後、委員のみによる合議が行われた。各委員から特段の反対意見または修正を要する指摘事項は示されず、合議が終了した。 その後、挙手による採決を行った結果、以下のとおりとなった。 承認 5名、否認 0名 審議結果の通知 採決終了後、申請者側参加者を入室させ、議長より以下のとおり審議結果が通知された。 「当委員会において提出資料を精査した結果、医学的妥当性、安全性および倫理性の各観点から検討を行ったが、本提供計画の承認を妨げる特段の問題点は認められなかった。以上の理由により、本再生医療等提供計画を承認するとの結論に至った。」	
審議結果	結果導出方法 (審議・多数決等)	審議	承認 5名 、 否認 0名
	結論	適	結論： 本委員会は、医療法人福岡聖友会 福岡セントフレンズクリニックより提出された「自己脂肪由来間葉系幹細胞による慢性疼痛治療」に係る再生医療等提供計画について審議を行い、提出資料を精査した結果、医学的妥当性、安全性および倫理性の各観点から検討を行ったが、承認を妨げる特段の問題点は認められなかった。 審議の結果、本再生医療等提供計画を承認することを全会一致（承認5名、否認0名）で決定した。 以上を鑑み、本委員会は本再生医療等提供計画を承認した。